

○…住友重機械工業の100%子会社で半導体製造に必要なイオン注入装置を手掛ける。4月に就任し「新入社員が働き続けられるよう、50年先も継続する会社でなければ

十字路

ならない」との気持ちを新たにしました。

○…新型コロナウイルス感染症拡大への対応として企業や医療現場ではテレワークや遠隔診療が注目されている。「一

住友重機械イオン社長 月原 光国氏



人一人が扱うデータ量が増えれば半導体の需要が高まる」とし、関連機器が広まることを期待。短期的な需要の浮き沈みが激しく「安定的な計画を立てづらい業界だが、しっかりとニーズをつかんでいきたい」と意気込む。

半導体 ニーズつかむ

○…西条市出身で、1987年に住友重機械工業入社。91年にイオンテクノロジーに移り、同市の愛媛事業所で開発などに携わってきた。

○…社長就任に伴い勤務地が東京に変わったものの、移動の自粛を求められる中「主力事業所である愛媛での仕事も多いので」と当面の間は地元にとどまることを選んだ。都内に単身赴任用の部屋を借りたが「まだ引っ越していない」と苦笑いだ。(岩田太)